

*****2007.5.21*****

CGL NEWS II Vol.14

Conference on Green Logistics in Japan

<http://www.logistics.or.jp/green/>

『CGL NEWS II』は、第2期ロジスティクス環境会議メンバーの方々を対象として、環境会議の活動状況と行政動向に関する情報提供を発信して参ります。

<目次>

- 1 CGLジャーナルII 第1号発行
- 2 第3期グリーンロジスティクスエキスパート講座のご案内
- 3 グリーン物流パートナーシップ会議
平成19年度モデル事業、ソフト支援事業決定
- 4 日本周辺海域の海面水温の長期変化傾向について(気象庁より)

CGLジャーナルII 第1号発行

第2期ロジスティクス環境会議の各委員会・研究会の活動状況等の情報提供を行う、「CGLジャーナルII」の第1号が発刊の運びとなりました。

今回の第1号では、2006年度に作成したアウトプットを含めて、今までロジスティクス環境会議で作成した成果物の紹介、第2回本会議開催報告を中心に掲載しております。

第2期ロジスティクス環境会議メンバーの皆様宛にご送付申しあげましたので、ご高覧の上ご査収いただきますよう何卒よろしくお願い申しあげます。

また、下記ページにPDFファイルを掲載しておりますので、関係会社、取引先の皆様含めまして、情報提供していただければ幸いです。

CGLジャーナルII 第1号

<http://www.logistics.or.jp/green/info/cgljournal.html>

第3期グリーンロジスティクスエキスパート講座のご案内

第3期グリーンロジスティクスエキスパート講座は、企業における環境対応への高まりや改正省エネルギー法に対応するために、ロジスティクス領域の環境負荷の現状を定量的に把握し、低減のための循環型システムを計画立案、推進、評価できるリーダーを育成します。

本講座は、環境負荷低減に関わる知識と技術に加え、課題の発見・分析力、戦略立案能力を身につけられる、より実践に近いプログラムで構成されており、ロジスティクス領域における環境負荷低減とコスト削減活動を推進するリーダーの育成を目的としています。

また、本講座を受講し、修了基準を満たし、所定の試験に合格された方には、「グリーンロジスティクス管理士」の資格が授与されます。

環境負荷低減のスペシャリストへの第一歩として、ぜひ、本講座を

ご活用ください。

関係各位の積極的なご参加をお待ちしております。

■会期:2007年7月13日(金)~2007年12月14日(金)
延べ12日間

■会場:東京都内会場

■定員:50名(定員になり次第、締め切らせていただきます)

■プログラム・参加申込方法

以下URLをご参照ください。

<http://www.logistics.or.jp/green/info/gle.html>

■参加料:JILS会員:294,000円/1名(税込)
JILS会員外:367,500円/1名(税込)

※有資格者優待:「物流技術管理士」「国際物流管理士」の有資格者が
本講座を受講する場合、受講料の優待料金が適用されます。

グリーン物流パートナーシップ会議
平成19年度モデル事業、ソフト支援事業決定

グリーン物流パートナーシップ会議の平成19年度モデル事業及びソフト支援事業が
5月14日に推進決定され、同日公表されました。

今回、モデル事業としては4件、今年度より新たに実施されるソフト支援事業につ
いては7件が認定されました。

詳細は下記ホームページを御参照下さい。

グリーン物流パートナーシップ会議ホームページ

<http://www.greenpartnership.jp/proposal/index.html>

日本周辺海域の海面水温の長期変化傾向について(気象庁)

気象庁では、地球温暖化などの気候変動の監視の一環として全球平均気温や全球海
面水温、我が国の気温の長期変化傾向を発表しておりますが、このたび、過去約100
年(1900~2006年)の船舶による観測データを新たに解析し、日本周辺海域における
海面水温の長期変化傾向の実態として、100年あたりの上昇率を海域単位で初めて明
らかにしました。

概要としては、以下のとおりです。

- ・一部の海域を除いて年平均海面水温は世界の海洋全体の平均の2倍強の割合で上昇している。
- ・海面水温の上昇率は日本の地上気温の上昇率と同程度である。

ただし、温暖化との関係について、気象庁では、「日本周辺海域における海面水温にも地球温暖化の影響が現れている可能性があると考えられるが、評価している領域が狭いことから、自然変動の影響を受けやすく、水温の上昇が必ずしも全て温暖化の影響といえるわけではない。」としております。

詳細は下記を御参照下さい。(気象庁ホームページより)

<http://www.jma.go.jp/jma/press/0705/15a/sstjapan.html>

*****CGL NEWS II 配信について*****

■本メールは第2期ロジスティクス環境会議

代表登録者・連絡窓口・研究会・委員会にご登録いただいている方に
配信しております。(メールの登録のある方のみ)

■発信元: 社団法人日本ロジスティクスシステム協会

■お問い合わせ、配信停止・変更は: cgl@logistics.or.jp

※各委員会に対する質問、要望等も上記アドレスにお願いいたします。

(C) CGL NEWS All Rights Reserved.
